

目 次

論文

- 5 中国人観光客のオンライン・クチコミ情報処理プロセスから見る精緻化見込モデルの変容
—2 ルート理論を再検討する—
孫 涛、伊藤 直哉、張 璇
- 19 AHP およびハフモデルを用いた北海道観光の分析
野原 克仁
- 31 宿泊税に対する観光客の支払い意思と「公平感」の媒介的役割
池知 貴大、山田 雄一
- 41 旅行業における新たな収益源確保への模索
—着地型観光商品の開発を事例として—
佐藤 千洋
- 49 地域におけるまちづくりと観光の関係に関する研究
—近江八幡における川端五兵衛氏の観光に関する言説を通じて—
後藤 健太郎
- 63 災害復興における観光政策予算が被災者の収入に与える効果の分析
—東日本大震災における松島町・女川町の観光予算による経済波及効果から—
山崎 庸右
- 75 出張旅行における精算方式のあり方に関する研究
—法人カードの有用性に基づく—考察—
藤原 久嗣
- 89 巡礼ツーリズムにおける経験価値のモデル実証
—西国三十三所巡礼バスツアー参加者への質問紙調査を基に—
南地 伸昭
- 107 インターネットの「顧客の声」と接客労働の管理
—マレーシアのホテルで働く日本人女性スタッフを事例に—
高橋 加織
- 研究ノート
- 121 旅行会社は本業による社会的貢献にどのように取り組むべきか
—価格訴求型旅行促進政策 Go To トラベルを事例に—
本間 准
- 129 ニュージーランドの観光に関する—考察—
—新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響—
石井 洋二
- 調査報告
- 135 温泉地におけるエコツアーの効果に関する研究
—温泉利用に加えエコツアーを体験することが心身に対して与える効果の測定—
西村 公一・海津 ゆりえ・瀧 康洋・松村 優也
- 書評
- 143 敷田麻実・湯本貴和・森重昌之編著（2020）：はじめて学ぶ 生物文化多様性、講談社、全 224 頁
深見 聡
- 学会活動報告
- 146 会長記念講演：記憶に残るプロジェクト～観光計画プランナーの 40 年～
梅川 智也
- 148 総会シンポジウム：東日本大震災 10 年を振り返り、10 年を展望する
- 163 第14回 日本観光研究学会「学会賞」（2020 年度）
- 166 支部活動報告：東北支部、関西支部、九州・韓国南部支部
- 173 研究分科会報告（2020 年度）
- 181 首里城焼失特別研究報告
- 187 学会からのお知らせ
-